

セクシュアリティのバリエーションを知るために



1、旧来の社会常識

- ・世の中には女と男のふたつの性別しかない。
- ・誕生時にふり分けられた男女の性別を固定的にとらえている。
- ・与えられた社会的性役割（ジェンダー）にしたがって生活する。
- ・その一環として、異性を愛し、結婚して子孫をつくる。

2、それぞれの要素におけるバリエーション

①身体の性におけるバリエーション 性分化疾患(DSDs・differences of sex development) / インターセックス

性染色体や性分化の過程のバリエーションにより、男女両方の特徴をもつ、あるいは、男女どちらかに分化していない人のこと。生後まもなく医師の判断で、外科的な処置により男女どちらかにあてはめられることが多い。そうした場合、思春期以降、性自認とのくいちがいが生じることが多い。また、ホルモンバランスが崩れていることが多く、他の疾病を併発することも多い。

②性自認③社会的性におけるバリエーション トランスジェンダー

出生時に割り当てられた性別とは異なる性自認を持つ人。自分の性別に違和感を持つ場合もあれば、与えられた性別に依拠せずに、自ら別の性を選択する場合もある。トランスジェンダーは、違和感・こだわりのありかたで、大きく次のように分類されてきた。

(1)トランスセクシュアル (TS)

肉体、その中でも特に性器に違和感を持つ。性別適合手術（いわゆる「性転換手術」のこと。ただし、厳密には「性を転換する」ことはできないので、現在は正式にはこう呼ぶ。SRS:Sexual Reassignment Surgery）を受けることを希望する人が多い。

(2)トランスジェンダー (TG)

肉体への違和感はあまりないが、社会的なあり方に違和感を持つ。もともとは、次に述べる TV と TS の中間概念としてできた。全体を包括する意味でのトランスジェンダーと区別するために、「狭義のトランスジェンダー」という。

(3)トランスヴェスタイト (TV)

性別の表現方法、とくに、服装にこだわりを持つ。

各個人を上のいずれかにあてはめて考えがちだが、個別のあり方はさまざまであり、あてはめきれぬものではない。むしろ、これらの要素がひとりのトランスジェンダーの中に混在していると考えた方がよい。また、これらの要素のありかたは一定なのではなく、時間的に変化をすることも多い。

・「性同一性障害 (GID)」って？

「トランスジェンダー」という言葉は、社会的なあり方を示す言葉である。それに対し、医療的側面からは、肉体的な性別と性自認の間の違和感のあり方が、診断基準を満たす場合「性同一性障害」という疾病名をつける。ただし、国際的な趨勢としては、脱病理化の方向に向かっており、2011年に発表された WPATH (World Professional Association for Transgender Health) の「Standers of care for the Health of Transsexual,Transgender,ande Gender Nonconforming People (SOC 第7版)」では「GD(Gender Disphoria)」となっている。

④性的指向のバリエーション 同性愛者・バイセクシュアル・Aセクシュアル

異性を好きになる人のことを、「異性愛者 (ヘテロセクシュアル)」という。それに対して、同性が好きになる人のことを「同性愛者」という。同性愛者は、従来、蔑視をこめて「ホモ」といった呼ばれ方をされてきた。当事者の中には、自らをそう呼ぶ人もいるが、現在は男性同性愛者を「ゲイ」、女性同性愛者を「レズビアン」と呼ぶ。

「バイセクシュアル」は、かつては「両性愛者」と言われてきた。そのため、時として同性愛者のコミュニティからも排除されることもあった。しかし実際には、性的欲望を持つときのキーが性別以外にあるので、あたかも「両性」に見えるだけのことでありとされる。また、「Aセクシュアル」は、性的欲望を持たない人のこと。Aセクシュア

ルの中には、恋愛などの関係の持ち方への拒絶感の強い「狭義の A セクシュアル」と、性行為などを望まない「広義の A セクシュアル」があると言われる。

これらの人々のことを「**LGBTQ+** (Lesbian Gay Bisexual Transgender Queer/Questioning)」や、総称として「性的少数者 (Sexual minority)」などと呼ぶ。

3、LGBTQ+の数

(1)性分化疾患 (DSDs・differences of sex development)

染色体のバリエーションについては、46XO ターナー女性 は 2500 人にひとり、47XXY クラインフェルター症候群は 1000 人にひとりと言われている。それ以外に、47XXX、48XXXY、46XX/46XY モザイクなどさまざまなバリエーションがあり、これらについては、人数比率はわからない。おしなべて考えると 2000 人にひとり、より広義で考えると 100 人にひとりの割合で生まれてくる。

(2)トランスジェンダー

トランス女性 (Trans Woman・性別越境状態の女性・かつては MtF=Male to Female と呼んでいたが、現在は国際的には使わない) は 10000 人にひとり、トランス男性 (トランス女性の反対) は 30000 人にひとりと言われる (WPATH『SOC 第 7 版』2011)。日本においては、2005 年夏頃には 3000 人と言われていた。その後、2007 年末に日本精神神経学会が主要ジェンダークリニックを対象に調査をおこない 7177 人 (トランス女性: 3031 名、トランス男性: 4146 名) という人数を発表している。さらに、2012 年末には 15,105 人という調査がある。しかし、実際には、なんらかの性別へのこだわりを持つ人は、2003 年頃には 1000 人にひとり、現在は 2% ぐらいいるのではないかと言う人もいる。

(3)同性愛者・バイセクシュアル・Aセクシュアル

キンゼイレポートによると、民族・国家・時代によらず、全人口の 3% ~ 10% いると言われている。

4、LGBTQ+の置かれた状況

差別や偏見が強く、カミングアウトが困難である。そのため、セクシュアルマイノリティーの存在が、社会の中で顕在化しにくい。また、当事者に正しい情報が届きにくく、孤立や自己否定につながりやすい。さらに、家族に受け入れられることがきわめて困難。

5、LGBTQ+の求めるもの

(1)性分化疾患 (DSDs) / インターセックス

身体の性別の自己決定権と本人への情報開示

(2)トランスジェンダー

○医療の問題

SRS の美容整形外科化、ホルモン剤や各種手術の保険適用

○社会の問題 - ふたつの道 -

・既存の社会の枠組みの中で生きる

不必要な性別記載欄の削除・性別記載の変更 / 訂正 (性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律) (注)

・あたらしい社会をつくりだしていくためには

性別によらない社会の創造・性別 2 元制の解体

(3)同性愛・バイセクシュアル・Aセクシュアル

・既存の社会の枠組みの中で生きる

性的指向が違うだけ、それ以外はなにも変わらない

・あたらしい社会をつくりだしていくために

多様なパートナーシップのありようを求める (ドメスティックパートナー、PACS 法等)

参考図書

総論

「セクシュアルマイノリティ 第3版」 STN21編 明石書店

インターセックス・トランスジェンダー・同性愛者の当事者の教育関係者がつくった本。授業のヒントとして、あるいは、当事者の生徒にどう接するかの手がかりとして、さらには、当事者の生徒が自分のことを知るための手がかりとして使っていただくと幸いです。

「クイア・スタディーズ96」

「クイア・スタディーズ97」 クイア・スタディーズ編集委員会編 七つ森社
さまざまなセクシュアリティについて、さまざまな人が語ります。

インターセックス

「インターセクシュアルの叫び」 小田切明徳 橋本秀雄著 かもがわ出版

「男でも女でもない性-インターセックス(半陰陽)を生きる」 橋本秀雄著 青弓社
日本ではじめて声をあげたインターセクシュアルの当事者が、問題を明らかにした本です。

「I S」第1巻～第17巻(完結) 六花チヨ著 講談社

インターセックスの自助グループである「三毛の庭」への詳細な取材にもとづいてつくられたマンガです。マンガであるという限界を抱えつつも、インターセックスの人達が抱える社会的な問題について、わかりやすく語られています。

トランスジェンダー

「トランスジェンダリズム 性別の彼岸」 松尾寿子著 世織書房

日本で性別適合手術が行われようとするのにあわせて、世界の諸地域を取材し、広く「トランス」の抱える問題を述べた本です。

『性同一性障害 -性転換の朝(あした)-』 吉永みち子著 集英社新書

日本ではじめて公に行われた性別適合手術への道筋を、大量のインタビューを元に、丹念に追いかけています。また、必ずしも手術を必要としない人へのインタビューもたくさんあり、「性同一性障害」「トランスジェンダー」の多様な姿がていねいに紹介されています。まず最初に読む本として、最適の一冊です。

『改訂版 性同一性障害の基礎と臨床』 山内俊雄編著 進興医学出版社

G I D (トランスジェンダー)の当事者による本は、最近ようやく出はじめましたが、医療の観点から書かれた本はなかなか一般には出版されませんでした。本書は、G I D治療の最先端にいる医師による豊富な事例と当事者からの提言が収録されており、G I Dを客観的に把握するのに最適の書と言えます。

『男でもなく女でもなく』 蔦森 樹著 朝日文庫

1993年に出版された本書は、トランスジェンダー当事者が書いたもののなかでも最も早い時期のものです。まだG I Dという言葉がない中で、自らをアイデンティファイしていく過程は、先達としての凄まじさを感じさせます。著者はその後の生き方を、小説として『愛の力』、エッセイとして『恋人と過ごす沖縄』という形で記していま

す。

『少年と少女のポルカ』 藤野千夜著 講談社文庫

リョウのことを好きなトシヒコは、13歳の時に自分が「ホモ」であることで悩まないことに決めた。「男ではない」という一点で納得するヤマダは「私だけ女子の共学」と何気なく言う。電車に乗ろうとすると「凄いんだよ、全身から血の気が引いて目が開けられなくて身体がぶるぶる震えるの」というミカコ。自身がG I Dである藤野千夜が描いた3人の高校生をめぐる青春の書。

『トランスジェンダリズム宣言』 米沢泉美編著 社会批評社

多様なジェンダーをめぐる言説は、最近の日本では、「性同一性障害」という医学的概念のくくりで論じられることが多かった。この本では、当事者が自己のありようにプライドを持ち、堂々と「トランスジェンダリズム宣言」をしている。筆者達はいずれも、現在の日本のトランスジェンダー界を代表する論客達で、洞察は深く、切れ味は鋭い。ここに述べられた言説は、ある意味、今この瞬間と言う、時間を表現したものであり、それがこのような一冊の書物として後世に残ることは、たいへんな価値があるものだと思う。多様なジェンダーへの理解を知るために、多くの人に読んで欲しい素晴らしい一冊である。

『性同一性障害 30人のカミングアウト』 相馬佐江子編 双葉社

FtM15人、MtF14人、インターセックス1人の当事者のインタビュー集。「性同一性障害」という一言でくくりきれない、当事者の多様な姿を紹介している。

同性愛

『同性愛がわかる本』 伊藤 悟著 すこたん企画編集 明石書店

同性愛とはどのようなもので、同性愛者がどのような状況に置かれているかを筆者の体験を交えながらやさしく解き明かします。二人のゲイ、一組のレズビアンカップルが登場して自らの人生や生活を語ります。同性愛に関する正しい知識と情報を提供するすこたん企画はとても精力的に活動しています。

『もうひとつの青春 同性愛者たち』 井田真木子著 文春文庫

「動くゲイとレズビアンのかい（略称アカー）」のメンバー7人の、それぞれの生い立ちと青春を追ったルポ。エイズの問題と府中青年の家裁判を通して、同性愛者が社会的な存在として顕在化されていくプロセスが明らかになっていきます。

『先生のレズビアン宣言 つながるためのカムアウト』 池田久美子著 かもがわ出版

「私は今現在、女性と暮らしています。彼女は私の恋人であり、生活上のパートナーです」。著者は私立女子高の教師。同性愛者であることを表明し、人権教育、性教育の視点で活動する。

『同性パートナー 同性婚・DPP法を知るために』 赤杉康伸・土屋ゆき・筒井真樹子編著 社会批評社

同性間のパートナーシップを考えることは、同時に、すべての人のパートナーシップを考えることにつながります。そのことを考えさせてくれる最適の書。

関連サイト

インターセックス

nexdsd JAPAN	http://www.nexdsd.com/
三毛の庭	http://www.mikeniwa.net/
日本インターセックス・イニシアティヴ	http://www.intersexinitiative.org/japan/

トランスジェンダー

GID 学会	http://www.gid-soc.org
ESTO	http://estonet.info/index.html
TNJ	http://www.tnjapan.com
G-front 関西トランスサロン	http://www5e.biglobe.ne.jp/~gfront/profile/trans.html
T-junction	http://www.geocities.jp/gotjunction
精神科医 杏野丈の Gender Euphoria Clinic	http://www.harikatsu.com
GID ふくおか	http://blog.goo.ne.jp/gid_fukuoka
GID コミュニティーズ 佐賀	http://x37.peps.jp/135779/
いつきのサイト	http://www.ituki-d.net

レズビアン/ゲイ/バイセクシュアル

動くゲイとレズビアンの会	http://www.occur.or.jp/
すこたん企画	http://www.sukotan.com/
Loud	http://www.space-loud.org/
G-front 関西	http://www5e.biglobe.ne.jp/~gfront/
AGP 関西	http://agp-kansai.seesaa.net/
堂山教師	http://www.geocities.jp/kaito213/
barairo.net	http://www.barairo.net/

ミックス系

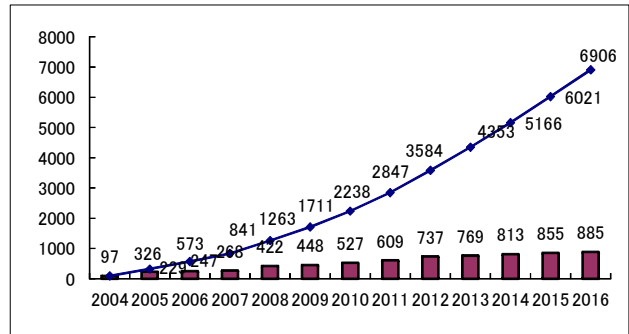
QWRC	http://qwrc.jimdo.com/
玖伊屋	http://kweeya.jp
チーム紀伊水道	http://kii.coron.jp
PROUD	http://proud-kagawa.org/
LGBT の家族と友人をつなぐ会	http://lgbt-family.or.jp

など

「性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律」をめぐって -いつきの私論-

2003年7月10日、衆議院本会議において、「性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律」が成立し、2004年7月16日に施行されました。そして、2004年7月28日に那覇家裁において、この特例法による性別変更がはじめて認められました。2016年12月末の時点で6906人に対して性別変更の許可が出されています。

この特例法では、成立時点では、以下の5つの要件を備えることが必要とされました。①20歳以上であること。②現に婚姻をしていないこと。③現に子がいないこと。④生殖腺がないこと又は生殖腺の機能を永続的に欠く状態にあること。⑤その身体について他の性別に係る身体の性器に係る部分に近似する外観を備えていること。



性別変更を必要とする当事者にとって、この特例法は画期的な意味を持っています。

しかし一方、この特例法の評価については、当事者内部でもさまざまな意見があります。まず、この法律は性的少数者の権利を認めるというのではなく、医療とのかかわりに限定された「性同一性障害者」を対象とし、「病者救済」という性格を持っていることへの批判があります。また、個々の要件についてもさまざまな批判が展開されています。まず、上記④⑤の要件は、「リプロダクティブ／ヘルス」という世界的な潮流とは真逆のものです。2104年にOHCHR, UN Women, UNAIDS, UNDP, UNFPA, UNICEF and WHOが「強要、強制、その他の自発的でない去勢手術の撤廃」という共同声明を出し、「これらの要件は法律の条文から削除すべきである」との見解を示しました。

また、「②現に婚姻をしていないこと」については、同性婚（同性パートナーシップ）との関連において考える必要があります。さらに、「③現に子がいないこと」という要件は親権の有無にかかわらないため、過去に子どもをつくった人は一切認められないという、世界に類を見ない要件でした。この要件が入った理由については、戸籍制度との整合性であるという分析もなされています。なお、この要件については、2008年6月10日に「未成年の子がいないこと」に「緩和」されました。しかし、この特例法全体が既存の男性像・女性像への合致や、既存の家族観を壊さない範囲においてのみ「特例的に」性別の変更を認めるものであるという性格を持っており、結果として、「戸籍制度の強化」「性別二元制の強化」「既存の家族観の強化」などに結びつくという側面に変わりはありません。

2003年9月に開催された「ハリーベンジャミン学会」で紹介されたイギリスの「性別承認法案」は2004年9月に成立をしました。この法律では、「性別違和感を有す、獲得した性別で2年間生活している、死亡するまで獲得した性別での生活を続ける意志がある」の3つの要件しかありません。「性別承認法案」の日本語試訳は杏野丈さんのwebサイト <http://www.harikatsu.com> の「私的図書室」に掲載されています。また、2012年にアルゼンチンで成立した「gender identity law」では、一切の医療行為は必要なく、役所に届けるだけで性別変更が可能となっています。さらに、2016年にはノルウェーで手術なしの性別変更が6歳から可能となりました。

「みなさんの声を学校にとどけるためのアンケート」結果

トランスジェンダー生徒交流会 2006.7.22

(1)学校生活で、困ったり、いやだ、と思ったことはありますか？また、その理由を書いて下さい。(複数可)

①受験（面接など）

- ・嫌
- ・書類を書く時に、本名と性別を書くのが嫌だった。
- ・性別記入欄を書くこと。
- ・受験票を書くのが嫌だった。性別欄は女と書かなきゃいけなかったから。
- ・学歴→〇〇女子中学校。

②健康診断

- ・個別に受けさせて欲しい
- ・他人に女の身体を見せるのが嫌やった。
- ・一番最初か最後にしてもらってるから、今は問題ない
- ・高校ではそれなりに対応してくれたため、特に困らなかった。例えば、心電図の時に服を脱がないといけなかった時。
- ・服脱ぐこと（中学）→個別（高校）

③制服

- ・嫌、困っている。私服がいいもしくは希望制服
- ・スカートをはくたびに、他人から見たら、俺は女なんかになって考えさせるのがつらかった。
- ・男女別の制服。選択制にしてほしい。
- ・イヤだと思った。
- ・スカート→ズボン（中3）

④体育の実技授業

- ・嫌、自分の認識している側で受けたい。選択制度希望
- ・男女別にされるのが嫌やった。
- ・男女でわかれること、種目もわけられるから嫌だ。

⑤プール・更衣室・トイレ

- ・新しくつくってほしい。トイレは入れない。増設。
- ・トイレは普通に男子用に入れたし、更衣室も男と一緒に着替えたけど、水着は嫌やった。
- ・プールとトイレが嫌だ。
- ・水着はガマンしてた。更衣室は男子と一緒に着替えれる。トイレは男子トイレ。
- ・プールは入ってない。更衣は教室とか普通に。トイレは男子個室。

⑥その他の授業（保健や家庭科、その他）

- ・???。セクハラっぽい。私達についても勉強はして欲しい。
- ・集会などで整列する時にわけられること。
- ・保健の授業では、前もって先生が「こんな授業があんねんけどやってもいいか？」と聞いてくれた。

⑦宿泊行事

- ・着替えや寝室を別にして欲しい。
- ・寝る場所がわけられるのが嫌やった。
- ・風呂
- ・風呂、別にしてもらったから大丈夫。

⑧友達（特にありませんでした）

⑨先生

- ・キライ。体育の先生でも、私達のことを頭の片隅においてほしい（保健を手がける人として）
- ・「くん」か「さん」どっちがいいか聞いてくれたことがうれしかった。
- ・中学の頃は受け入れがなかった。高校になってから、校長も教頭も含め、先生みんなが対応の仕方がわからない時はストレートにオレに聞いてくれるのがうれしい。G I Dのことも先生たちが勉強してくれてるので、先生にめぐまれてると思う。
- ・特に。中3の担任の態度の変わりようが嫌いやった。今はすごい良い。

⑩その他

- ・集会などで整列する時にわけられること。

(2)学校のなかで、ほっとしたり、よかった、とおもったことは、どんなときですか？

- ・保健室で自然に会話ができる。
- ・ダチがG I Dのことを教えてくれたり支えてくれたりしたから、すっげえダチに会える学校が楽しかった。
- ・先生が協力してくれたこと。友人が支えてくれたこと。
- ・友達と素で話してる時。友達と遊んでる時は常によかったと思う。
- ・毎日（今の高校になってから）。

(3)あなたの夢や希望をおきかせください

- ・女性よりも女性らしく、自分の信念を曲げない。
- ・希望は世間の人らに俺らのコトをわかってほしいし、理解してほしい。好きなヤツのガキをつくってやれるようにしたい。
- ・家族を持ちたい。自分の子どもつくれるようになってほしい。歯科技工士になって、自分で会社つくりたい。
- ・保育士。自分のもとの身体にもどりたい。子どもをつくりたい。
- ・特に。社長。自転車いっぱい買いたい。手術は怖いからしたくない。注射とかも痛そうやけど、お母さんには勧められる。

(4)その他（学校や社会のありようへの要望など）があれば書いて下さい。

- ・そこまで食いつくな！本気で真剣に考えていないのなら黙認すべし。排除はしないで欲しい。
- ・世の中にはこんな考えを持って生きているヤツらもおるってコトを知ってほしいし、理解してくれるならしてほしい。
- ・手術をしなくても戸籍を変えられるようにしてほしい。性別記入欄をなくしてほしい。
- ・ほっといて。

性別にやさしい世の中のためにあなたにもできること

2005.06.04 文責 阿倍まりあ

<http://nonpass.hp.infoseek.co.jp/>

0、性別は二つではない（大前提）

口が裂けても「世の中には女と男しかいない」なんて言わないようにしましょう。

1、相手を見た目の性別で判断しない

すっぴんのわたしを見て「男だ」と思ったら大間違いです。

2、性別の典型にあてはめて考えない、分類しようとしな

「彼女」「彼」などの三人称を安易に使わない。「あなたは〇〇だ」と勝手に決めつけない。性別のメニューは、人それぞれです。あなたのメニューにない性別もあるのです。

3、相手の性的な好みをきめつけない

女装しているだけで「好みの男性は？」なんて聞かれる。なぜ男が好きときめつける？

4、他人の心の性や性的な好みなど、性にかかわることはプライバシーなのでばらさない

知ってても言うたらあかんで。他人のプライバシーを明かさなないのはコミュニケーションの基本です。

5、書類やアンケートなどの性別欄に疑問を持つ

白紙ですませられるなら白紙回答。女と男以外の性別を書く。わざと逆を書くのも一つの方法。権之助という名の女性や、美子という名の男性がいてもええやんか。可能なら異議を唱える。「なぜ必要なのか？」「なぜ女と男しか選べないのか？」

6、トイレや浴場で性別の典型にあてはまらないひとに出会っても、あわてず騒がず

それだけで助かる人がどれだけ多いか想像してみてください。お風呂はまだハードルが高いですけど、いつかはこのハードルもなくしたいです。

7、カミングアウトされたときは、まず、黙って聞く。頭ごなしに否定しない

あなたがどれほど性別の典型に凝り固まった考えでしかいられなくっても（それ自体は否定しません）、それを相手に押しつけることはできないのです。まずは黙って聞いてあげてください。自分の意見を言う前に相手の言い分を十分に理解する努力をして下さい。

8、血縁、友人、知人に性別の典型にあてはまらない人がいたら、孤立させない

たった一人でもいいから、普通にあいさつし、話し掛ける人がいてくれれば、心強いんです。

すべてをいきなり実践しろと言っても無理なので、ひとつひとつ機会があるごとに失敗を重ねて身につけていって下さい。まずは性別は二つではないというところからはじめていきましょう。